

平成29年度

自己点検評価に関する学校評価委員会の評価
学校関係者評価委員会の評価

美容師学科

対象期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成30年2月3日(学内学校評価委員会報告)
平成30年3月28日(学校関係者評価委員会)

学校法人 SOLA沖縄学園

スターウッドBeB美容専門学校

基準1 教育理念・目的・人材育成像

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	4	学園経営会議、校務運営執行役員会議、全学教職員会議等の議を経て、年度経営方針で明示。年度基本方針等は職員室での明示。非常勤教員には定例学科懇談会でガイダンス。	教育理念に沿い、人財を育成し、時代を見据えて取り組んでいる感じている。少子化・高齢化社会の到来で時代の流れが急速な変化をつくっており、ますますの特色ある教育活動を展開してほしい。SOLA沖縄学園にはリーディング専門学校として期待している。
1-2	学校における職業教育の特色は何か。	4	・高度な技術力の習得 ・プレゼンテーション能力の育成 ・豊かな人間性の涵養	①養成施設認可学科として、指定規則の自主点検事項をクリアし、かつ将来の社会貢献すべくひとつづくりが展開されていることは評価したい。
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3	学園中期プロジェクトに下記の事項を重点課題として掲げている。①「学生一人一人の個性と能力を最大限に伸長する」理念達成のために学生一人ひとりが目標をクリアする実力を身につけるための教授力の向上。②専門就職率100%の達成。③中途退学者を0%とし、全学的には3%以内にする。	②非常勤教員に対するガイダンスが今後の課題と考える。専任教員の他、多くの専門スペシャリストの非常勤講師を迎えており、人財育成に密な連携が必要だ。
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	入学年次の保護者会、新入生入学ガイダンスで「学生のしおり」等を以て説明。学園広報誌や学科ニュース誌等を配布。	③教職員は保護者より「この専門学校に入学させてよかった」と評価を受けられる研鑽を高めていただきたい。
1-5	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	学科年間教育計画で編成し取り組んでいる。今後は業界との関連性を深めていくように改善する必要がある。	

基準2 学校運営

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3	学校経営方針は、校務運営会議、学内経営会議、教務課教員・学科長会議、学科長法人理事会の承認を得て、年度初めに全教職員に周知－教育活動、学生募集、財務、コンプライアンスなど。	少子高齢化がますます進んでいる。学校づくり、特色ある校風づくりは、少子化時代であっても、それらが構築できる学園は社会から評価を受けるものである。自己評価が3に対して今後総括してほしい。
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3	年度初に立案し、理事長承認。年7－8回の学内経営会議にて進捗報告をしている。	法人部門及び事務局の業務内容について検討すべき。特に教務運営・学生教育支援との連携が課題である。
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3	学園組織図、就業規則、職務規程、校務分掌分担等をもとに計画的に遂行している。職員必携等を活用して教職員会議を以て連携を図っている。	就業規則では明示されていない年俸制が採用されているが、早急に改正すべきだ。職員積極的なやる気は運営組織の充実化を図る上で大切。
2-4	人事、給与に関する規程などは整備されているか。	3	人事、給与関係は就業規則に規程。就業規則は職員室内に掲示し、教職員が閲覧できるようにしている。人事考課制度を取り入れ教職員の業務向上、生産性の向上策を検討すべき。	人事考課制度は早急に取り組むべきである。
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3	現行のシステムの諸課題について校務運営執行役員会で検討している。	学科関連予算編成や諸費徴収規程の改良・改善に努力をして欲しい。

基準2 学校運営

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
2—6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3	コンプライアンスの運用については、関係部署連携を組織的に実施することが求められる。各学科が関連する業界とは概ね一定程度適切な運用が行われているが、就職先、地域自治体等との連携強化が課題。	色々と取り組まれていることは高く評価したい。実社会で活躍している卒業生との連携を更に深めるべきである。
2—7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3	教育活動の成果は、ホームページを中心に学園広報誌、学科ニュース等をもって広く公開。学生等の個人情報については「学園個人情報取り扱いに関する規程」に留意している。	美容師学科独自のニュースを保護者にも送付すれば学校理解が更にすすむのではないでしょう。
2—8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3	学生管理システム、教職員の出退勤・勤怠など現況の運用システムを更に改善、見直しを行っています検討すべし。	

基準3 教育活動

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3	教育理念、養成指定校諸規定等を踏まえた各学科の教育課程が編成されている。職業専門大学設置等の現下にあつて、こんごは更なる業界・社会との連携に関する研究・検討が必要と考えられる。本学でも研究会組織を立ち上げて行くことを検討する。	関連分野の皆さんを招聘して年に数回の懇談会を開催してみてもどうか。収穫大きいのではないか。
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	厚生労働省大臣認可の美容師養成施設は指定規則等に基づいた到達レベル、時間確保が行われており、所轄庁への年度定期報告を行っている。	養成課程として法令を遵守していることは評価する。そして国家試験対策を編成し、100%の合格率を獲得していることも高く評価したい。
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3	職業人育成プランに基づき、専門職業人育成に必要な専門的知識、技術及び人間教育、資格検定取得にむけた講義や実習等が構成されている。	高齢化社会を迎え、団塊の世代が増加した。訪問美容、介護美容についても若い学生たちに概略でも講話すべきと考える。養成があれば協会としても応援する。
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3	・年間教育活動計画に総合的に組み入れ実施されている。従来通り、年次課題としてPDCAを基本に全学的研修会をもって改善すべきである。・学科学外教員研修会参加報告会を定期的実施している。	ある統計で見ると、学生の動向がここ数年大きく変わってきている。時代に即したキャリア教育にシフトしなければいけないと考えている。キャリア教育の体系化を検討すべきでは。
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	3	学習発表会（卒業作品展）、学内美容技術コンテスト等に企業から審査員を招聘し、意見をもらっていくことを検討したい。	過年度卒業生等に来校してもらうことで、在学生の学習効果やカリキュラム編成について参考にできるのではないか。

基準3 教育活動

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
3—6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	各学科で企業実習推奨し実施計画を策定。今後企業からテーマをいただき、企業連携プロジェクトを検討が必須と考える。	100%の就職率評価したい。離職率が高い業界です。学外の美容現場は現場でのマネージャー、業務の進め方、お客さんとのコミュニケーションなどインターンシップで学習できる。是非ご検討を。
3—7	授業評価の実施・評価体制はあるか。	3	前期・後期終了後に学生に対し「授業アンケート」を実施。短期講座、特別講義等についても修了時に学生から感想を提出させている。	年に2回程度のアンケート実施を行い、関係委員会において改善点を点検し、全教員を参考にしていくべき。管理者が研究授業に参加し、教授方法などアドバイスしても良いと思う。
3—8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3	学園職業実践専門課程事務局と各学科長の合同会議をこれまでに4回開催。平成30年度より各学科の年間教育計画に組み入れられるよう進めている。	業界団体の役員とか企業人と積極的にすすめてください。
3—9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	学則並びに教務内規等に明示。学生・保護者には教務発行冊子「学生しおり」を作成し配布説明。	保護者にもしっかりと説明が必要である。離島の保護者にも十分な対策を必要としているのでは。
3—10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	100%合格が学科目標。普通授業のカリキュラムでのシラバスも資格取得に向けた内容を編成。臨時に模擬テストを年間20回以上取り入れている。	かなりの時間を割いて国家試験対策が進められているようで、何しろ美容師資格がなければ仕事が成り立たない。座学の嫌いな学生もいると思うが、先生方より「夢」があることを話していくべき。

基準3 教育活動

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
3—11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	学科専任教員に加え、当該学科専門教育並びに学科職業性に考慮し非常勤教員を採用している。また各学科の国家試験対策、民間重点資格受験対策として特任教員も採用している。	
3—12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3	各学科に関連業界より専門分野の特別講義をくみいれており、講師として業界団体や産業界のスペシャリストを招聘している。美容師学科の一例では美容外科・美容形成外科医師を特任講師として編成。	特別講師を招聘して専門分野の特講が展開されていることは評価する。県美容師組合として要請があれば積極的に参加する。
3—13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3	教職員研修に関する規程に基づき、計画的な研修実施を進めている。平成28年度は前年度の総括を踏まえ、研修予算を増やし各学科教員の関連団体への研修や学会などすすめている。	
3—14	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	美容師学科では、九州地区美容技術コンクール大会への学科全教員の研修参加、善根理容美容教育センター主催の教科スキルアップ研修や科目認定教員講習等に派遣。	美容団体・業界主催に教員の研修参加はともよい。それらの研修参加報告書をまとめられてはどうか。

基準4 学習成果

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
4-1	就職率の向上が図られているか。	4	学科長、担任、就職支援室担当者による就職会議を月2回実施。年間スケジュールに基づき就職指導を実施。また担任教員による個別面談も実施、就職希望調査・個人就職面談等を実施。就職セミナー、模擬面接、来校型企業説明会を実施。	学科教員の企業訪問は就職決定にプラスになることでしょう。学生にも企業訪問を推奨しており、学生一人一人も取り組んでいることを評価する。
4-2	資格取得率の向上が図られているか。	4	各学科とも100%資格取得を目標としている。資格試験対策講座や模擬試験、補講指導等を実施。	
4-3	退学率の低減が図られているか。	4	退学注意者の早期発見し、早期フォローアップを実施。個別面談、保護者面談、校長による面談。毎月担任より欠席者・退学要注意者等対応状況データを取りまとめ教務に報告させている。	前年度の退学者の傾向を分析し、十分な対策が立てられていないのでは。経済的理由や進路変更等の退学理由を具体的に検討必要がある。
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3	卒業後の動向調査は往復ハガキを活用し、実態把握（約3割程度）。実習企業や求人獲得企業等から評価の情報を得ている。平成29年度は各学科別のデータ収集を推進している。	在学生の学校生活満足度調査を実施すべき。そこから学生募集や企業からの評価、地域社会からの学校への信頼度がみえる。
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3	在校生就職支援の一つとして、企業で活躍している卒業生を講師として招聘し講話を開催。本年度は全学科で実施計画。企業採用者を本学園に招き、懇談会を開催。貴重な提言を得た。次年度に活かしていきたい。平成30年度より卒業生ネットワークの構築に着手する。	卒業生は実社会で活躍している。優秀な学生を多数送り出している。卒業生との連携を強化して更に良い学園を構築して欲しい。

基準5 学生支援

点検評価項目		自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
5—1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	就職指導担当者は学生の求職票をもとに求人先開拓、就職セミナーの開催、企業来校型説明会、面接練習等を実施。次年度より各校に選任の就職指導担当者を配置して対応を検討していく。	担任は就職・進学の第一段階の窓口にならないといけない。自己分析、履歴書作成指導、模擬面接指導は学科関連性からしても大切。
5—2	学生相談に関する体制は整備されているか。	3	学内に学生相談室を検討していく。	退学防止、家庭事情による経済的不安定からくる学業への影響等総合的に考え、専任の相談員が必要。
5—3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	入学時に特待生試験を行い、学費の減免を行っている。学園独自の給付、学費減免等の奨学金制度、日本学生支援機構奨学金制度がある。学費納付金は分割納付制度を設け、経済的困窮学生・保護者に支援を行っている。	離島及び本島北部地域、県外学生支援策として、借り上げ寮の検討をしてみたいか。
5—4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3	保健室を設置している。医療系の学科教員を中心に日常的には健康管理をする。科目非常勤教員の医師（8人）にも相談し、健康管理に努めている。年に1回の定期健康診断を実施。	まずは、校医を持つべきです。さもなくば多数在籍する学内講師の臨床医師との協力体制を組めば容易に可能である。
5—5	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3	課外活動として、学園祭・学生教職員交流球技大会、部活動等多岐にわたる。部活動には学園大会等派遣規程を適応し、学生に負担にならないよう補助活動費を支給している。	各種競技大会、地域交流活動では顧問教職員の献身的な活動に高い評価をしたい。

基準5 学生支援

点検評価項目		自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
5—6	学生の生活環境への支援は行われているか。	3	学園スクールバスの巡回、学生駐車場の設置、学園内コンビニの設置、学生談話エリア設置、ボランティア活動への支援等がある。	今後は、那覇方面、中部地区・南部地域へのスクールバスを検討し、モノレールとの結合アクセスシステムを構築する検討が必要ではないか。
5—7	保護者と適切に連携しているか。	3	教務部主催学科長会議での議を経て各学科計画に基づき、保護者会等を実施。学園広報誌や学科ニュースを発行配布。	保護者を大切にし、保護者の声を教育活動に活かすことが今後とも健在な学校として生き残っていける所以と考える。
5—8	卒業生への支援体制はあるか。	3	w e b サイトにて情報提供を作成中。平成29度には内容の充実化をすすめる。	
5—9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3	沖縄県洋菓子組合主催パティシエ技術コンクール・医療機器・臨工技士研究会等、企業等との連携が本学園施設で開催されている。平成29年度は年間15回開催。	業界美容機器メーカーや化粧品企業との連携が進んでいることは評価できる。
5—10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3	県内高校10校にキャリア講演招聘、12校で仕事ミュージアムの一環として就職講話を実施。また本校への上級学校見学を積極的に受け入れている。高校生が来校して受けた職業教育体験学習は約300名余。	

基準6 教育環境

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	専修学校設置・厚労省指定基準に沿って整備。美容師学科関連施設設備備品については、実習授業等に最新設備を導入。授業形態に沿ってパソコンソフトの更新やパワーポイントによるプレゼン等で使用する大型スクリーン等も導入。	指定基準に沿った整備をもって実習授業が展開されていることはスペシャリストとして技術を磨いていく上で大切。予算編成で計画的に進めるべきでしょう。
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3	可能な限り最新設備の導入（例示：臨床工学技士学科の人工心肺装置は4000万円）。美容師学科の美容実習室の整備・備品は数千万円の機器器材を導入。美容師学科のインターンシップについて本年度検討をすすめる。	
6-3	防災に対する体制は整備されているか。	3	学園教職員防災連絡網や学生用・教職員用マニュアルを作成している。内容は、災害対策本部の設置・学内災害発生時の対応・学外活動中の対応等の任務等。	緊急地震速報、津波速報、火災速報等迅速なシステムを構築すべき。学生の携帯電話等の視察建学活用した安否確認システムの構築も必要ではないか。

基準7 学生の受け入れ募集

点検評価項目		自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか。	3	学生募集計画において、学科毎の募集人数、学費、広報利用媒体、オープンキャンパスなど募集イベントを策定し、実施。進学資金やAO入試や学費分割納付の増加を受けて相談会・説明会を追加して実施。	学生募集活動は入学前教育に位置づけられなければならないと考えている。受験者には職業適性の発見・目的意識の開発に属すと思われる。
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	学生募集は学園広報・入試広報・学科教員を中心に全学的組織体制のもと推進。オープンキャンパスでは授業内容や資格取得、就職、業界の動向等を紹介し、進路決定するための資料を提供している。	学校の先生方、施設、授業実習等をアピールすれば、学生志願者は定員を上回ると思います。卒業生としても自信を以て入学を進められる。
7-3	学納金は妥当なものとなっているか。	4	学科の教育内容や教育設備に加え、他校の学費水準等参考にするなかで、本学学費の決定は理事会で審議を経て決定される。	学費は入学者にとって大事。学園奨学資金や生活支援等もっと明示すべきだ。

基準8 財務

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
8—1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3	平成29年度単年度収支財政のみでは堅調といえるものの学園財務全般については今後、中長期視野による学園運営事業計画を策定し、財政基盤の安定構築に努めることが必須。	財務基盤の安定は、指揮命令の系統を明確にすることが先ず大事。世が少子化に向かうなか、さらに学生募集の厳しさが考えられる。安定経営を構築するためにも検討に値する。
8—2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	新校舎建設、新学科設置に伴う施設設備の予算措置はあり、予算・収支計画は適正に行われている。学校法人という公共性を踏まえ、現状に満足することなく、改善を図っていく。	本学には県内唯一の設置学科が認可されている。さらにと社会や企業にPRしていくべきと考える。入学者の定員確保を命題として取り組まれることを期待したい。
8—3	財務について会計監査が適正に行われているか。	4	監事監査が実施。学園理事会、学園評議員会に報告され適正な監査体制が確立されている。また所管の沖縄県に年度財務報告を行っている。	
8—4	財務情報公開の体制整備はできているか。	3	現在公開していない。今後理事会で検討していきたい。	近い将来は大学並みに法令改正があるようだ。準備態勢が必要と思われる。

基準9 法令等の遵守

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
9—1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3	関係法令に基づく設置基準・指定規則等について遵守・運営している。	今後は、法人理事会と調整してコンプライアンス委員会を設置することも検討すべきである。
9—2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	個人情報保護規定を文書化。	全学教職員研修会のテーマとして学習すべき課題だ。特に対外的な学園の個人時用法取扱いについての周知、問い合わせ等に関する事項は重要項目だ。
9—3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3	文科省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って自己点検・自己評価を実施している。学校評価委員会での分析・評価を各種委員会や学園各階層部門で共有している。平成30年度にも改革委員会で集約していく。	学校の教育コンテンツを社会に発信するチャンスだと思われる。積極的に取り組んでほしい。
9—4	自己評価結果を公開しているか。	3	学校のホームページ等で公開する。	

基準 10 社会貢献・地域貢献

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
10—1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	沖縄県洋菓子協会、臨床工学技士沖縄支部総会・研究会、救急救命士講習会、オリンピック強化選手の合宿会場提供。また各種検定・資格試験会場等として本校校舎施設を積極的に提供し、地域貢献を引き続き行う。	企業との連携活動は学生達の実践教育の観点からも大切だ。評価します。
10—2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	熊本地震災害見舞金募集を各学科ホームルーム長会議で決定し、学内募金活動を実施（約10万円を熊本県内専門学校2校に寄付）美容師学科は介護施設で介護美容ボランティアを3回実施。	「専門学校は人材育成と地域への啓蒙活動も兼ね備えて行かなければならない」、技術向上のみでなく、込みにケーション、人間力を高め社会貢献できるひとづくりに期待する。
10—3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	4	平成28年度より29年度にかけて社会貢献講座やスポーツ研究所、保健医療公開講座を実施する。	是非、取り組んでいただきたい。高齢者対象のウォーキング練習、柔道整復師学科の体操教室、沖縄の材料を使用した洋菓子・和菓子作り等はどうか。

基準 1 1 国際交流（必要に応じて）

	点検評価項目	自己評価	学校評価	学校関係者評価結果
11-1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。			
11-2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。			
11-3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。			
11-4	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか。			